



厚木中ロータリークラブ 週報

2012-2013 第1697回3月6日号

会長:藤川孝幸 幹事:加藤元英

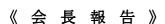
事務局: 厚木市栄町1-16-15 厚木商工会議所2F 例会場: レンブラントホテル厚木

TEL 046-222-5811 FAX 046-222-5821

◇1697回 例会◇

《友の紹介》

by 山崎隆夫会員



- ガバナー事務所より
- 財団ニュース 2月号
- インターアクト台北(D3480) さよならパーティー のご案内

2013年3月24日(日)16時~18時

- 場 所 レンブラントホテル厚木
- 費 用 ロータリアン 5,000円 インターアクト 無料

《幹事報告》

- 例会変更
- ・寒川RC

3月 18日(月)→休会 (クラブ定款による) 4月 1日(月)→3月 31日(日) 12:30 点鐘 花見家族移動例会「隅田川舟下り」 に振替

《 ウェルカム握手 》



ゲスト 林正博様

◆ ◇おめでとうございます!!◆◇



柴田淳之助会員 喜寿のお祝い



 ∞

《卒業おめでとう》
厚木商業IAC



藤山拓人君、福岡翼君、岩山優希君、浅見篤史君藤山君は「インターアクトクラブに参加して、自分はまだまだ知らないことがたくさんあるということを知りました。募金活動がとても印象に残っています。ボランティアはしてあげるのではなく、させてもらっているのだと感じました。これからは、学んだことを伝えていきたいと思います。ありがとうございました」と話しました。(4月に神奈川大学法学に入学予定)。また「周りの人に喜んでもらえるようなことが出来てよかったです。これから看護師をめざし勉強します。ボクシングもがんばり、看護師ボクサーをめざします」と福岡君。

「人の役に立てる活動ができてよかった。将来は公認会計士・税理士をめざします」と岩山優希君。

「インターアクトに参加してよかったと思います。 今後は看護学校で一生懸命勉強します。 ありがとうございました」と浅見君がしっかりとした口調で話しました。

4人には卒業祝い記念品が藤川会長から手渡されました。



ロータリークラブの雰囲気にもずいぶん慣れましたネ。



藤山拓人君、最後の点鐘です。藤・藤コンビ。



「IAC親子(?)」の1ショット

∞∞ スマイル ∞∞

【藤川会長・和田副会長・中野会長エレクト・加藤 幹事・小島副幹事】…インターアクトの卒業生の 4名の方々、ようこそいらっしゃいました。今後 共3年間のロータリークラブとの関係を大切にし て立派な社会人になって下さい。ようやく春の訪 れを感じる時期となりました。会員皆様のご健勝 を祈念いたします。林先生、ゆっくりお過ごしく ださい。

【中野会長エレクト】…①林正博さま、本日はよう こそ厚木中ロータリークラブの例会にお越しくだ さいました。ゆっくりして下さい。ご入会をお待 ちしています。インターアクトの皆さん、ようこ そ!

②2013-14年度の会長方針と会務分担表を配布 させていただきました。どうぞよろしくお願い致 します。 また、次年度理事・役員の皆様、3月 4日には貴重なご意見を賜りありがとうございま した。 【飯田久夫会員・佐々木尚壽会員・笹生誠会員】… インターアクトの皆様ようこそ。当クラブの例会 を楽しみ、又、何かしらを学んでください。 【朝倉弘一会員】…山崎さん、先日の I M時の写真 ありがとうございました。

【西村弘司会員】…厚木商業インターアクトクラブ 3年生の皆さん、ようこそお出で下さいました。 次は学友会ですか?それともローターアクトです か? 今後もがんばって下さい。

【明石 衛会員】…大変申し訳ありませんが、本日 早退させて頂きます。

【柴田淳之助会員】…理事会のため早退します。ご 理解下さい。

【笹生正人会員】…林先生、お越しいただきまして ありがとうございます。よろしくお願いします。

∞

《記念の一葉》



※ 3月20日(祝)は休会です。

2月最後の日、「公共イメージ」についての地区セミナ ーに中野会長エレクトと出席しました。 公共イメージ をアップさせるために、まず会員はいつもバッジを着用 しましょうということでした。(簡単にできそうですね) またメディアなどを大いに活用して広く"ロータリー" を知ってもらえるよう、奉仕活動などを積極的に行いま しょう、奉仕活動をする時のためのベストも用意してい る、とのことでした。「ロータリーとは?」の問いに、 わかりやすい言葉でロータリーが説明されている小冊 子があることも知りました。(早速、注文していただき ましょう) また、地区は広報賞なるものまで作り、競 って公共イメージのアップを図ろうとしています。 … 私たち、厚木中クラブは、賞に躍らされることなく、キ ッチリと誇りを胸に、地に足を着け、ロータリーらしい 活動をしたいものだと思いました。それには、やはり原 点をみつめての研鑽は必要であるとも感じた次第です。

(%)